

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 7 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25285212

研究課題名(和文)日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究

研究課題名(英文)Comprehensive study on life career, training, and support of the woman health professionals in Japan and UK

研究代表者

渡邊 洋子(WATANABE, Yoko)

京都大学・教育学研究科(研究院)・准教授

研究者番号：70222411

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 5,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では「医療専門職とジェンダー」の問題構造が解明され、日英の女性医師の職業と個人生活、生涯的なキャリア構築と自己形成、医学教育と生涯学習、歴史的経緯と現状、学術的アプローチと実践などの関係性に関わって多くの示唆が得られた。主な知見は、1.日英の女性医療専門職の研究手法、2.欧米の専門職世界でのfeminisationの動向(文献・実地調査)、3.日本の医師世界のキャリア認識と「プロフェッショナリズム」・「ロールモデル」概念との関係性(文献研究・ウェブ調査)、4.「キャリアヒストリー法」の構想・発展(次期科研)であり、研究成果は雑誌論文7、図書7、学会口頭報告・招待講演等17で公表された。

研究成果の概要(英文)：In this study, the problem structures of the career of 'women clinical (or health) professionals' were observed, and many implications were acquired for the analysis of vocation and personal life of women doctors in Japan and UK, lifelong career development and self-formation, medical education and lifelong learning, history and present situation, academic approach and practice. The major outcomes were; 1 the research method of women clinical professionals in Japan and UK; 2 the trend of feminisation in the professional world of EU; 3 the relationship of career and other concepts such as 'professionalism' and 'role model' in the Japanese medical world; 4 the design and development of 'career history method' (next challenge). These discussions were published through a book, articles, 3 aural reports, and an invited lecture.

研究分野：生涯教育学

 キーワード：女性医療専門職 生涯キャリア 「女性参入型」専門職 プロフェッショナリズム ロールモデル キ
 ャリアヒストリー 専門職教育 キャリア教育

1. 研究開始当初の背景

代表者は、戦前の処女会・女子青年団、農繁期季節託児所、女性教育/指導者など、歴史的アプローチによるジェンダー教育研究と、2006年以來の日本医学教育学会専門委員会等の医学・医療者教育への関わりやプロフェッショナルリズム、キャリアに関する現代的問題関心から、歴史的対象を現代的課題から再検討する意義と可能性を追求してきた。とりわけ、東京女子医科大学創立者吉岡彌生を取り上げた博士学位論文は、吉岡の女性専門職養成の思想と実践を、「女医」養成論と「女医」発展戦略、「女性医師の生き方」に関わるロールモデルなどの実践的観点から捉え直すものであり、本研究は、代表者のこのような問題意識を分担者と共有しつつ、医学教育学、看護教育学、生涯教育学、日英比較研究などの統合的・総括的アプローチで課題に取り組もうとするものであった。

2. 研究の目的

本研究は、医療専門職の女性、主に女性医師と女性看護師の生涯を通じたキャリアの形成・継続・発展とその養成上の諸問題を歴史的・実践的・国際的視点から多面的に検討することを通して、女性医療専門職をめぐる現代的課題への示唆と展望を得ようとする総合的研究である。近年、社会問題化した女性医師の「医療現場からの撤退」、新卒女性看護師の職場定着率の低迷などを背景に、キャリア形成、キャリア継続やワークライフバランス等への対応の必要性が認識されてきた。本研究では主に、世界初の女性医師 E.Blackwell、および看護師の専門職化の主導者 F.Nightingale を輩出した英国と日本との、医師・看護師の職業的発達、キャリアの現状と実践的課題などの多面的な比較検討から、「生涯キャリア」実現への示唆と展望を得ることを目指した。

3. 研究の方法

第一に、研究会活動を基盤に研究・実践・認識の共有化と相互理解をすすめ、他専門職と比較した医療専門職の特徴、発展段階の時期区分、史的考察を共有化し、論点と諸課題を明らかにした。

第二に、医師・看護師を中心とする専門職のキャリア支援や養成・教育について、関連機関やリソースパーソンへのヒアリング、関連学会等での情報収集、実地調査の成果を史的考察とつぎ合わせつつ、考察対象と方法論について検討を行った。

第三に、女性医師・女性看護師へのキャリアヒストリーインタビュー調査計画について、倫理審査への申請を行い、分析方法としてのキャリアヒストリーのフォーマットの検討と周到な調査計画を作成した。また、キャリアヒストリーを用いた教育実践の方法論への適用可能性をも検討した。

第四に、英国の女性医療職の歴史、入試・選抜システムを含む現状、課題を実地調査し、そこに横たわる諸課題を抽出するとともに日本の実情と比較検討し、その動向と顕著な特徴を論文化した。

第五に、特に女性医師の文脈に絞って、キャリアとプロフェッショナルリズム、キャリアとロールモデル、という2組の重要概念がどのような位置関係にあり、実態としてどのように相互関連しつつ、現場で機能しているのかについて、主に web 調査と理論的検討から浮き彫りにした。

4. 研究成果

本研究では「医療専門職とジェンダー」の問題構造が解明され、日英の女性医師の職業と個人生活、生涯的なキャリア構築と自己形成、医学教育と生涯学習、歴史的経緯と現状、学術的アプローチと実践などの関係性に関わって多くの示唆が得られた。

本研究で得られた知見は、(1) 日英の女性医療専門職の研究手法の検討(全般・研究会)、(2) 欧米の専門職世界での feminisation の動向整理(文献・実地調査)、(3) 日本の医学世界のキャリア認識と「プロフェッショナルリズム」・「ロールモデル」概念との関係性(文献研究・ウェブ調査等)、(4) 調査分析方法・教育実践方法としての「キャリアヒストリー法」という新たな枠組の構想・発展(次期科研)である。

本研究では、現代の多様化・複雑化する専門職世界において「医療専門職とジェンダー」の問題構造を整理・分析し、生涯キャリアの視野で、日英の女性医師の職業と個人生活、キャリア構築と自己形成、医学教育と生涯学習、歴史的経緯と現状、学術的アプローチと実践などの関係性を考察検討するための基本的枠組と方向性を示すことができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計7件)

渡邊洋子、専門職のキャリアをめぐる現代的課題 女性医師を手がかりとして、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.4、2016、3-16

渡邊洋子、日英における女性医療専門職の比較研究の視点 医師とジェンダー、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.3、2015、11-21

佐伯知子、【研究動向】女性医師をめぐるキャリア研究の現状と課題、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.3、2015、101-105

柴原真知子、【研究ノート】イギリスにおける女性医師キャリア支援の現段階 医学のFeminizationに注目して、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.3、2015、107 - 118

池田法子、【資料紹介】E. N. Anionwu 『メアリー・シーコール小伝 看護師・学生のためのリソース』(英国看護協会、2005年、p. 46)、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.3、2015、125 - 133

渡邊洋子、コラム キャリアヒストリーを書く、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.2、2014、159-160

渡邊洋子、調査報告 多様性と参加拡大を掲げるイギリス大学入試改革と生涯教育学的示唆 オックスフォード・ケンブリッジ両大学等でのインタビュー調査から、京都大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol.1、2013、53-66

渡邊洋子・柴原真知子、イギリスにおける女性医療専門職の誕生と養成・支援活動 パイオニア女性のキャリア確立プロセスに関する成人教育的考察から、京都大学大学院教育学研究科紀要、査読有、59、2013、99-123

[学会発表](計17件)

渡邊洋子、医療専門職とジェンダー 生涯キャリアの観点から、奈良県立医科大学教育開発センター・女性研究者支援センター主催 FD 講演会(招待講演) 2015年12月21日、奈良県立医科大学(奈良県・橿原市)

佐伯知子、専門職養成におけるロールモデルの位置と役割 看護師を事例として、日本学習社会学会、2015年9月27日、北海道教育大学(北海道・釧路市)

渡邊洋子、佐伯知子、柴原真知子、池田法子、女性専門職におけるキャリアとロールモデル 医師を手がかりに、第62回日本社会教育学会研究大会自由研究発表、2015年9月19日、首都大学東京南大沢キャンパス(東京都・八王子市)

渡邊洋子、佐伯知子、柴原真知子、池田法子、専門職におけるキャリアとプロフェッショナルリズムの現代的課題 日英の女性医師の比較研究から、第7回公教育計画学会研究大会自由研究発表、2015年5月29日、新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」(新潟県・新潟市)

渡邊洋子、医学生にとっての自己主導型

学習 3年間の取組みを踏まえて、平成26年度医学教育フォーラム(招待講演) 2014年9月06日、奈良県立医科大学(奈良県橿原市)

柴原真知子、イギリス医学部入学者多様化政策の動向: Widening Participationのストラテジー、第46回日本医学教育学会研究大会 シンポジウム、2014年7月19日、和歌山県立医科大学(和歌山県和歌山市)

渡邊洋子、教養特別講義(招待講演) 自己主導型学習2、2014年5月15日、奈良県立医科大学(奈良県橿原市)

渡邊洋子、教養特別講義(招待講演) 自己主導型学習、2014年4月25日、奈良県立医科大学(奈良県橿原市)

渡邊洋子、日本医学会総会シンポジウム報告(柱15-5) 教育学の観点から見たIPEの意義と可能性、2014年4月13日、国立京都国際会館(京都府京都市)

柴原真知子、Multiple-Mini Interviewについて、シンポジウム・特色ある入学者選抜の取り組み 良き医療人材の発掘と選抜について考えよう、2013年11月30日、慶應義塾大学医学部(東京都新宿区)

渡邊洋子、My Teaching をどのようにデザインし改善するか 授業評価の有効な活用方法とは、第10回北里大学高等教育開発センター講演会、2013年11月7日、北里大学(神奈川県相模原市)

柴原真知子、イギリス女性専門職開拓期におけるE・デイヴィスの支援的役割と思想 イギリス最初の女性医師 E・G・アンダーソンへの関わりを中心に、日本社会教育学会第60回研究大会、2013年9月28日、東京学芸大学(東京都小金井市)

渡邊洋子、どうすれば授業は良くなるのか?(講師・コーディネーター) 平成25年度奈良県立医科大学医学教育フォーラムとワークショップ、2013年9月1日、奈良県立医科大学(奈良県橿原市)

渡邊洋子、成人学習の社会学に向けて Peter Jarvis の提起をどう受け止めるか(シンポジスト) 日本学習社会学会第10回大会公開シンポジウム、2013年8月31日、関西大学 100周年記念会館(大阪府吹田市)

Machiko Shibahara & Yasuhiko Konishi、Learning/non-Learning Process and Key

Aspects of Teaching in Clinical Placements: An analysis of medical students' self-descriptions on their learning experience, Association of Medical Education in Europe, 2013年8月28日、Prague Congress Centre (チェコ共和国プラハ市)

柴原真知子、錦織 宏、小西 靖彦、教育質保証視察事業における「医学生の声」の役割 General Medical Council 視察報告書の分析から、第45回医学教育学会大会、2013年7月26日、千葉大学医学部(千葉県千葉市)

渡邊洋子、柴原真知子、学習理解と学習支援の考え方(企画・講師)、FDワークショップ(招待講演)、2013年5月8日、聖マリアンナ医科大学(神奈川県川崎市)

〔図書〕(計7件)

渡邊洋子編著、「日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究」科研報告書編集委員会、日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究(平成25~27年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書、課題番号:25285212、研究代表者:渡邊洋子)[本編]、2016、87

渡邊洋子編、「日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究」科研報告書編集委員会、日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究(平成25~27年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書、課題番号:25285212、研究代表者:渡邊洋子)別冊資料集、2016、439

渡邊洋子編、「日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究」科研報告書編集委員会、日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究(平成25~27年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書、課題番号:25285212、研究代表者:渡邊洋子)別冊資料集、2016、196

渡邊洋子編、「日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究」科研報告書編集委員会、日英の女性医療専門職の生涯キャリアと養成・支援に関する総合的研究(平成25~27年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書、課題番号:25285212、研究代表者:渡邊洋子)別冊資料集、2016、158

渡邊洋子、明石書店、近代日本の女性専門職教育 生涯教育学からみた東京女子医科大学創業者・吉岡彌生、2014、312

前平泰志監修、渡邊洋子編著、前平泰志、柴原真知子、佐伯知子他著、ミネルヴァ書房、生涯学習概論 知識基盤社会で学ぶ・学びを支える(渡邊洋子「生涯学習の場としての公共施設を考える 本と出会う場としての図書館」、渡邊洋子「生涯学習の内容と学習課題」、柴原真知子「生涯学習社会における学習支援者の仕事と役割」、佐伯知子「生涯学習の学習評価と成果の活用」)、2014、276(1-7、81-99、118-136、156-171)

マルカム・ノールズ 著、堀薫夫、三輪建二監訳、堀薫夫、三輪建二、佐伯知子 他訳、鳳書房、成人学習者とは何か 見過ごされてきた人たち(佐伯知子 訳、第1章、第2章)、2013、353(3-14、15-32)

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

渡邊洋子(WATANABE, Yoko)
京都大学・教育学研究科・准教授
研究者番号:70222411

(2) 研究分担者

岡田彩子(OKADA, Ayako)
兵庫県立大学・看護学部・准教授
研究者番号:10425449

佐伯知子(SAEKI, Tomoko)
大阪総合保育大学児童保育学部・准教授
研究者番号:90517210

柴原真知子(SHIBAHARA, Machiko)
京都大学・医学研究科・助教
研究者番号:40625068

宮地由佳(MIYACHI, Yuka)
京都大学・医学研究科・助教
研究者番号:50726015
(平成26年度のみ研究分担者)

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

池田法子(IKEDA, Noriko)